



農業機械の寄贈を喜ぶ生産技術科の生徒

12/1

実習環境の充実を願って JA共済連岩手

地域貢献活動の一環として県立千厩高校にラジコン草刈り機、ミニ耕運機など9種類13台の農業機械を贈りました。生産技術科2年の村上智彩さんは「有効活用し、時代とともに進化していく農業技術の学びをさらに深めていきたい」と感謝を述べました。



グループワークで意見を出し合う若手生産者

11/22

将来を見据え情報を交換 一関地方農林業振興協議会

一関地域野菜若手生産者交流会を開き、管内で野菜を栽培する生産者が、低コスト環境制御技術を学びました。情報交換会では「収益を上げるには」「若手からの提言・提案」をテーマにグループワークを行い、将来を見据え管内の園芸作物について語りました。



礼作法を学びながら餅を食べる児童

11/21

もち本膳の習わしに理解 東山小学校

5年生41人は、学習田で収穫したもち米で作った餅を試食しながら、一関地方に伝わる「もち本膳」の歴史や由来、礼儀や作法について学びました。千葉陽生くんは「地域の米の情勢やもち食文化の歴史を教えてもらえてうれしかった」と感謝の言葉を話しました。



生育状況を確認する参加者

11/29

収穫開始期の管理を共有 JAいちご生産部会

イチゴ栽培指導会を菅原修さん（花泉）の圃場で開きました。令和5年産の出荷が始まることから、生育状況を確認し、開花期から収穫開始期の管理を共有しました。JA管内では「さちのか」と「やよいひめ」を主に栽培し、12月上旬から出荷が始まっています。



品評会のよりすぐりのリンゴを見る来場者

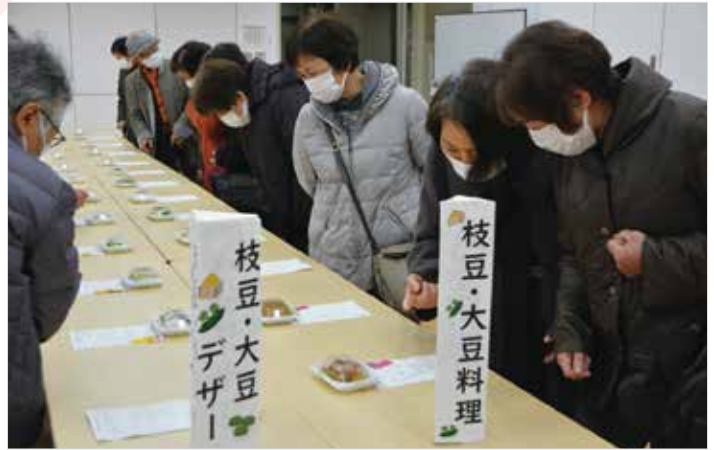
11/26

旬のリンゴを求め大盛況

令和4年度農業応援祭をJA東部管農振興センターで開きました。贈答用リンゴの販売や地方発送受付の他、第8回JA果樹部会果実品評会などを同時開催しました。新米の「ひとめぼれ」や「金色の風」、いわて南牛肉も販売され、多くの来場客でにぎわいました。

12/6

日頃の女性部活動を披露
JA女性部



枝豆・大豆料理、デザートコンクールに関心を寄せる女性部員

令和4年度JA女性部大会並びに家の光大会を開き、女性部活動の体験発表や枝豆・大豆料理コンクール、家の光記事活用作品展示を行いました。記念講演では地産地消講師の地伏亭金目さんが、地元の歴史や偉人のエピソードを交えた講演を披露しました。

12/2

児童養護施設に玄米贈る
JA集落宮農組織連絡協議会



一関藤の園に玄米を届けたJA関係者

児童養護施設一関藤の園に、20組織から提供のあった「ひとめぼれ」や「銀河のしずく」などの玄米25袋を贈りました。JA集落宮農組織連絡協議会の遠藤恭一協議会長が「生産者が気持ちを込めて作ったおいしいお米を食べて元気に過ごしてほしい」と話しました。

12/7

菅原さん最優秀賞に輝く



入賞された皆さんと関係者

第18回いわて南牛枝肉研究会を開きました。去勢22頭、雌14頭が出品され、6日の販売では、5等級に31頭、4等級に4頭が格付けされ、上物率は97・2%。最優秀賞には菅原隆一さん（大東）が輝き、脂肪交雑や光沢、縮まりなどが高く評価されました。

12/2

JA窓口で強盗対策訓練
東磐井地区金融機関防犯協会



訓練で犯人役に対応するJA職員⑤

強盗対策模擬訓練と年末防犯対策会議をJA千厩支店で行いました。銀行や郵便局、信用金庫、JAなどの金融機関の職員が見学する中、訓練が行われ、対応に当たったJA千厩支店職員は、犯人の対処方法や、通報、救護など役割分担を確認しました。

12/9

正月料理をみんなで習得
JA女性部花泉中央支部



正月料理を調理する部員

地産地消活動グループは、正月料理教室を開きました。JA生活シーダーの伊東澄子さんの指導で、家の光に掲載されたレシピを正月用にアレンジした料理に挑戦。部員が食材を持ち寄り、和風キッシュやだて巻きなど新年のおもてなし料理が出来上がりました。